

平成30年第2回玉野市教育委員会 会議録

I 期 日： 平成30年2月13日（火） 於：特別会議室

II 開会時間： 14時00分

閉会時間： 16時00分

III 出席委員： 教育長職務代理者 近藤 寿子 委員 野田 洋二
 委員 川口 雅之 委員 大川 佳郎

IV 欠席委員： 教育長 石川 雅史

V 出席者氏名： 教育次長 岡本 隆 教育総務課長 服部 克巳
 学校教育課長 住田 義広 就学前教育課長 牧野 真哉
 社会教育課参事 大倉 明
 （書記） 山内 祐樹

VI 会議内容：

1. 開 会

2. 前回会議録の承認

平成30年第1回教育委員会会議（H30.1.19）の議決事項等について。

教育長報告：なし

議 事：議案第1号 玉野市立学校に勤務する県費負担教職員及び玉野商業
 高等学校教職員の人事評価制度に係る苦情相談及び苦情処理に關す
 る要綱の一部改正について 他2件

協 議：重要課題に関する教育委員担当制について 他1件

そ の 他：平成30年玉野市成人式実施報告について 他2件 （承認）

3. 教育長の報告

(1) 平成29年12月定例市議会一般質問概要について

- (野田委員) 教育長の答弁に「新教育委員会制度が求める姿に到達するにはまだまだ努力すべき点が多いと認識している」とあるが、どのようなことを努力すべきと考えられているか。
- (教育総務課長) 教育委員会制度改正の趣旨は、「委員がより積極的に関与し議論する場に」ということだと思う。担当委員制度などを用いて、活動の活性化を図る部分などがそれにあたると思う。
- (野田委員) 山本議員の質問は、制服を変えた方が良いという意味か。
- (学校教育課長) 時代の変化に応じて必要があれば変えて良いという気持ちがあるようだ。LGBTなど、多様な子どもたちに対応できるよう考える必要があるのではないか、ということのようだ。
- (大川委員) 商業高校の制服は比較的リーズナブルであったため、さほど問題は起こらなかったが、制服のモデルチェンジ等は慎重な議論がなされるべきである。
- (近藤委員) インクルーシブ教育について、学校によっては通常学級との交流がまったく無いところもあると聞いた。現状はどうか。
- (学校教育課長) 交流の有無は学校によるものではなく、対象となる子どもにとって、交流による成果が期待できる場合に行っている。中学に入ると学習面でよりレベルが高くなるため、交流はぐっと減少する。
- (近藤委員) 支援学級に入ることは、先生方と一緒に決めているのか。
- (学校教育課長) 専門家等による就学指導委員会で一人一人認定している。保護者の希望が強い場合は断ることができず、支援教育に積極的な地区は、通常学級に通えそうな子が多く認定されるケースもあり、その学校は交流が多くなる。
- (大川委員) その逆で、支援学級へ行くべきなのに行かせない保護者が多い地域はあるか。
- (学校教育課) 地域による傾向もあるが、祖父母が支援学級に入れることを反対するという家庭もある。

4. 議 事 なし

5. 協 議 なし

6. その他

(1) 平成29年度 3月補正予算について

(教育総務課長) 資料により説明。

(就学前教育課長) 資料により説明。

(川口委員) 山田中学校の技術教室建替は、建物だけで117,000千円かかるのか。

(教育総務課長) 建替に伴う倉庫の移動や、崖の外構工事も含めた金額である。

(2) 教育施設視察について

(教育総務課長) 資料により説明。

(3) 平成29年度 第3回教育委員会懇談会について

(教育総務課長) 資料により説明。

(野田委員) 「学校運営のあり方」とはどのようなことを話し合うのか。

(学校教育課長) 教育委員会が進めている教育施策を、現場がどう取り組んでいるかを話し合えたらと考えている。小中連携の取組みや中学校区一貫教育の中でのキャリア教育、商業高校が商工高校となる動きなどについて話を聞けたらと考えている。

(4) 鉾立小学校木造校舎耐震化に係るアンケートの結果について

(教育総務課長) 資料により説明。

(野田委員) 外観に全く手を付けず、補強工事をするにはできないのか。

(教育総務課長) 相当な費用を掛ければ可能と思われるが、児童の安全安心を守ることを目的とした補強であり、文化財レベルの高額な工事は選択肢にない。

(近藤委員) 住民はそれを求めているのか。

(教育総務課長) 外観を維持して欲しいという人は文化財レベルの工事を求めている。保護者からは、安全のためならやむを得ないとの声がある一方で、なぜ建替えないのかという声もある。教育委員会としては、他校同様に補強可能な校舎は補強で対応する方針であり、対応方法について30年度も引き続き鉾立地区で話し合いの場を持つことになると思う。

(5) 玉野市学校給食センター整備手法等検討調査業務 基本構想報告書について

(教育総務課長) 資料により説明。

総務文教委員会出席のため、教育総務課長、山内書記が退席。

本件はここで終了し、次回2月27日開催の教育委員会で続きを報告する。

(6) 玉野市北体育館の活用提案の公募について

(社会教育課参事) 資料により説明。

(野田委員) この事業者提案は採算が合うのか。5億円全て補助されるか。

(岡本教育次長) 事業内容によって補助額は変わる。国・県からの扶助費によってまかなわれるようだ。

(大川委員) 体育館利用者の負担増につながらないか。

(岡本教育次長) この施設は障害者の就労支援施設として補助金の申請をすることだ。体育館は(付属の施設として)空き時間に利活用していただくことになる。

(野田委員) 耐震化はできているのか。

(岡本教育次長) 解体して新たに造り直す提案だ。現在の3分の2くらいの規模になる。

(近藤委員) 体育館の機能として夜も使用できるのか。

(岡本教育次長) まだ提案段階だ。この事業者が落札すれば、そういった点も含めて詰めていく。

(7) 玉野市立荘内公民館(荘内市民センター)自動販売機設置者募集要項(案)及び公募について

(社会教育課参事) 資料により説明。

(近藤委員) 事業者はどの様なところを想定しているか。

(社会教育課参事) 飲料のベンダーなどだ。

(野田委員) 希望する事業者はあるのか。

(社会教育課参事) 実績のある市内業者何社かに案内する予定である。

(近藤委員) 自販機設置をずっと希望していた。以前は何台もあったように思う。

(社会教育課参事) 以前の自販機は災害用のもので、事業者も維持することが困難となり撤退した。今回は通常の自販機である。

(8) 図書館特別整理（曝書）に係る休館日について

- (社会教育課参事) 資料により説明。
- (大川委員) 期間中は完全に閉館するのか。
- (社会教育課参事) そうだ。
- (近藤委員) これまでのようにリサイクルに回る本は出てくるか。
- (社会教育課参事) リサイクルは来年度開催する予定としている。
- (近藤委員) 余談になるかもしれないが、荘内市民センターの図書室が最近
は完全に閉められている。前は言えば開けてくれた。改善でき
ないか。
- (社会教育課参事) 図書を管理する職員の配置が行き届いていない。現状では、防
犯上の理由からも開けられないのではないか。
- (近藤委員) 仕方がないのかもしれないが、もったいない。現状のままにな
るのであれば、図書館をやめて児童館として開放してほしい。
荘内地区にも児童館がほしいという声がある。
- (社会教育課参事) その様な意見をいただいたことを館長会議で投げかけてみる。

次回、教育委員会は平成30年2月27日（火）14：30から特別会議室で開催
するので参集願います。

以上で、第2回教育委員会を閉会します。

議事録調整者

書記

山内 祐樹



会議録署名委員

教育長

石川 雅史



〃

教育長職務代理者

近藤 寿子

